

よなか ふしぎ わ  
 世の中には不思議で分かりづら  
 いことがたくさんあります。自然、  
 かがく れきし くわ せんせい  
 科学、歴史など、詳しい先生に解き  
 あ  
 明かしてもらいましょう。

し 知りたい 好奇心



© 原ゆたか / ポプラ社

くさ にお むし で あ  
 草の匂い、虫との出会い…  
 じもと かわ みりょく  
 地元の川は魅力いっぱい



水生昆虫の羽化の様子。背中が割れて成虫（写真下）が姿を現しました。  
 山梨県立富士見支援学校の生徒や先生たちと観察しました

今年（ことし）は5月から気温の高い  
 日が続く、もう夏休みに入っ  
 たよくな陽気です。暑い季節  
 になると、水辺が恋しくなり  
 ますね。さあ地元の川に行っ  
 てみませんか。

異なる印象

甲府盆地内の笛吹川や釜無  
 川、富士川のような大きな川  
 なら、まず土手の上から河原  
 全体を眺めることをお勧めし  
 ます。ゆったりと流れる川や  
 広々とした河原は、本当に気  
 持ちがいいものです。家族や  
 友人と出掛け、皆のお気に入り  
 の場所を探してお昼ごはん  
 を食べた後、木陰で写生をし  
 たりするのも楽しそうです  
 ね。

また、信玄堤（甲斐市）  
 に代表される、治水の歴史  
 を知れば、自然の力の大き  
 さと、それに立ち向かった  
 昔の人々の苦勞を重ねて川  
 を見ることができるようにな  
 るでしょう。

一方、少し小さな川の場合、  
 大きな川に比べて土手から川  
 が近いために、川や河原の様  
 子がよく見えるようになり、  
 川や場所によって、受ける印  
 象が大きく違うことがわか  
 ってきます。水の量や河原  
 の様子だけではなく、川の周  
 りの土地利用と比べながら、  
 その違いの理由を考えるの  
 も楽しいですよ。

楽しみ倍増

また階段護岸など、降りら  
 れる場所が見つかったなら、  
 土手から川に近づいてみま  
 しょう。草や川の匂いも感じら  
 れ、土手の上で眺めていたの  
 とは違う世界に入ることがで  
 きます。

植物が川面に垂れ下がる  
 ように繁茂して、水の流れが  
 穏やかで水深の浅い場所は、  
 水の中の生き物を探し格好の  
 場所です。見つけた生き物を  
 バケツやバットに入れて持ち  
 帰り、図鑑で種類を調べまし  
 ょう。

時期によっては水生昆虫  
 の羽化に立ちあえることもあ  
 ります。左の2枚の写真は  
 5月の初旬に甲府市の荒川  
 で川底の石を持ち帰ったの観  
 察中の出来事です。石の上  
 にいた昆虫の背中が割れ、虫  
 にとつての大きな転機が訪  
 れたと知ったとき、そこにい  
 た大人も子どもも昆虫の変化  
 の様子に見入ってしまいました。  
 よう。

このように川の楽しみ方は  
 それぞれですが、川の歴史や  
 川にすむ生き物を知っている  
 人と一緒に行くと、楽しみ方  
 が倍増します。

Yamanashiみずネ  
 ット (<http://ymizunet.org>)  
 ンは、8月2日に甲府盆地  
 内で「水辺の探検」を行いま  
 します。今から夏休みの計画に  
 入れてみてはいかがでしょうか。  
 （山梨大学総合研究部国  
 際流域環境研究センター教授  
 風間ふたば）